

## 令和3年度 第1回那須地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 意見交換（要旨）

開催日時 令和3年10月7日（木） 午後1時40分から午後2時43分まで

開催場所 オンライン開催（那須塩原市役所 本庁舎 3階 303会議室）

出席委員 8名

欠席委員 3名

那須塩原市 企画部長

事務局 那須塩原市 企画部企画政策課 5名

構成市町 大田原市 政策推進課 1名

那須町 企画財政課 1名

那珂川町 企画政策課 1名

傍聴者 なし

### 1 開 会

### 2 あいさつ（企画部長）

### 3 自己紹介

### 4 会長、副会長選出

次のとおり、選出されました。

会 長 山島 哲夫 委員

副会長 村山 茂 委員

### 会長あいさつ

昨年度と今年度はコロナ一色となり非常に大変な時期で、観光など様々な事業が上手く動かなかつたが、現在はようやく動き始めてきた。今後も、観光や交通は非常に大きな役割を担ってくる。

その中で、那須地域全体で魅力を作っていくことが重要ではないか。全体で地域が良くなるように議論を進めていければと思うため、よろしくお願ひしたい。

### 5 内 容

#### (1) 第2次那須地域定住自立圏共生ビジョンの改定について

（事務局より説明）

【質疑応答】

委員：事業目標全体について、数値化しなければいけないのだと思うが、会議の開催、参加者数などの目標は、実態としてどうなのかという疑問はある。

また、那須塩原駅東口等バリアフリー化事業について、那須塩原駅東口にエレベーターが設置されたが、エレベーターの管理はどこが行っているか。

事務局：市が事業者保守点検等を委託している。

委員：目標値が事故件数となっているが、事故がゼロであることは当然のこと。それを目標値とするのはどうなのか。例えば、一般駐車場から駅構内までの間で、いくつか段差がある。バリアフリー化事業の目標としては、そういったバリアフリーが必要な箇所を取り上げて、具体的にどこを解消するなどが目標になるのではないか。併せて、実施する内容においても、現在運用中のエレベーターの管理のほかに、段差の解消などを検討してもよいのではないか。

会長：もともとこの事業は、定住自立圏の取組で設置したエレベーターの管理費用について、その管理費用を事業費として計上しているもの。その管理費用の目標であるため、事故がないようにという意味で事故件数という指標になった。

しかし、バリアフリー化事業ということであれば、段差をなくすというような目標を新たに入れても良い。来年度以降、事業内容を検討し、予算を変えていくことになるかと思う。実際に、どのくらいバリアがあってどのくらい移動しにくいのか確認することも含め検討していただきたい。

副会長：那須塩原駅について、車道と歩道の段差、歩道とエレベーターや階段の段差など、検討の余地はあると思う。

会長：バリアフリー化事業ということで、実施する必要があるものは、ここに位置付けていけば良いということ。

委員：那須塩原駅東口エレベーターについて、国道4号以南の高齢者にとっては使いやすくなった。しかし、西口前の駐車場は舗装整備されているが、東口前の駐車場は砂利となっており舗装整備されていない。西口・東口の整備の均衡をとる意味でも、那須塩原市の表玄関としても、東口前の駐車場を舗装できれば良いと思う。そうすれば、国道4号以南から東口を利用する人にとって更に利用しやすくなると思う。

また、再生可能エネルギー適正利用推進事業で行われている太陽光安全パトロールについてであるが、那珂川町で一番高い「高倉山」の頂上付近に、太陽光が設置されている。現在は、設置業者と所有者が異なっており、周辺住民は大雨の際の鉄砲水などを心配している。こういった危険箇所の情報を那須地域定住自立圏の会議でもう少し話題にして、情報共有を図りたい。

会 長 : 那須塩原駅前については、那須塩原市でも様々な議論が進められている。市役所の庁舎の建設予定も西側で検討が進んでいるし、今後どうしていくかを那須塩原市としても検討し、今のような話題もその中で検討されていくと思う。

会 長 : 何点かご指摘があったが、これについては今後検討していただくということで、共生ビジョンの数値についてはこれで了解いただく。

## (2) アフターコロナを見据えた那須地域定住自立圏の今後の取組について

(事務局より説明)

### 【質疑応答】

会 長 : コロナで9月まではどうなるかという状態だったが、10月になり落ち着いてきている。第6波、第7波があるかもしれないが、アフターコロナを見据え、定住自立圏がどのように進んでいくべきかを話していく必要がある。今後の取組について、どのようなところに力点を置いていくか。各市町の皆さんからお話を伺いたい。

那須町 : 町としてもアフターコロナに向け、準備しているところだが、決定打的なものは展開していない。各自治体には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が支給されており、県北地域として何ができるか探しているところ。現在は、飲食店等への休業手当の上乗せを実施している。これからは、観光に向けて何かできればと考えており、直近のコロナ対策事業としては、プレミアム付きクーポン券に取組んでいる。那須町では、プレミアム率は10%と高くはないが、観光客も購入できるほか、子育て世帯には無料配付を行っている。

会 長 : 様々な取組について、那須地域全体で一緒に取り組むことが効果的だと思う。特に、この定住自立圏で関連する施策は、ぜひ連携して取り組めると良い。

委 員 : 観光資源というのは、集客をどのように実施していくか、ということになると思う。罹患リスクを下げる対策をしっかりと行っていくことではないか。バーチャルで観光を体験していただくことも良いと思うが、やはり足を運んでもらうことを前提とした方が良い。そうすると、密の回避が課題となるが、壁で仕切って周りを見えなくするよりは、ガラス張りで見えるようにしながら密を避けていくことも良いのではないかと。

委 員 : イベント関係が実施できなくなっている。共生ビジョンの中でも、大規模なものや対面などいろいろなイベントがあるが、アフターコロナとなってどの程度のものの開催が許されるかを見極めて、イベントを開催できれば良い。

会 長 : コロナについては不確定要素が非常に多く、今から来年度に何をどう実施するか分からない部分が多いが、コロナ収束後に何を取り組むか、また、その際に、様々なところと競争になることから、地域全体でまとまっていくことが重要。

委 員 : やはり観光面が重要であると考え。あらゆることを想定して、準備をしておくことが必要。

会 長 : 日本遺産としては、那須塩原市以外にも他の地域が関わっている。各市町の観光資源を連携させていけると良い。

委 員 : 6次産業化を那須地域で連携して支援できないか。谷川地区では、収穫した山野草をお茶(「散草茶」として販売する株式会社が設立され、この会社が高齢者を雇用していることもあり、地元高齢者の雇用促進にもつながっている。そういった取組を那須地域で連携し、応援できればと思う。

会 長 : 那須地域定住自立圏事業では、農観商工連携推進事業において、連携して6次産業化に取り組むこととなっている。各市町で6次産業化の芽があると思うので、4市町で協力して実施していくことは非常に意義があるのではないかと。

委 員 : 有害鳥獣等対策事業について、8月頃からイノシシを見なくなっている。これは、豚熱の影響のようだ。このように、情報を共有して、全体で有害鳥獣対策に取り組んでいただければありがたい。

副会長 : 皆様のご意見のとおり、先が見えないことが非常に問題になっている。個人の意見としては、ウィズコロナ・アフターコロナにおける社会活動の影響を最小限に抑えるため、ワクチン接種率や経口のワクチン・治療薬の開発状況などの情報を、つぶさに消費者へ周知していくほか、「ワクチン接種率が何%になったら3密対策は不要」「経口治療薬が開発されたらマスクの着用は不要」など、分かりやすいガイドラインを行政に作成してもらった方が良いのではないかと。そうしなければ、いつまでもこの状況が続いてしまうと考える。

また、共生ビジョンについては、スタートから8年が経ち状況が変わってきている部分がある。気候変動の問題は、作成時より差し迫った状況になっている。公共交通事業についても、各市町で運営している交通網閲覧システムをまとめて、これを見れば那須地域内の目的地に行くための交通網が分かる、というような1つのソフトがあるとよいのではないかと。それぞれのシステムがバラバラでは有効に活用できない。デジタル化されたものを有効に使い、利便性が向上すれば観光客も来訪しやすくなるだろう。

全体で考えると、この会議の内容が陳腐化している部分があるように思う。災害やデジタルなど、状況が速いスピードで進んでいるため、時代に即した検討が必要であると思う。

委員：アフターコロナの観光について、那須地域全体でやっていけることは、サイクルツーリズムと日本遺産だと思う。日本遺産については、ガイド養成講座が開かれ、那須塩原市だけでなく、那須地域全体から沢山の方が参加していたが、コロナの影響で後が続かなかった。やる気満々の方達が参加していたため、コロナが落ち着いたら再開したら良いと思う。

また、サイクルツーリズムについては、関係者の連携も進んでいるので、自治体には温度差なく応援してほしいと思う。

緊急事態宣言が解除になるのではないかという報道がなされたタイミングで、観光客の方の動きが活発になってきている。ただ、かなりの気のゆるみとワクチン接種への過度な安心感がある。ワクチン接種が済んだからと言って、イコール感染しないとか、他の方に移さないというわけではなく、万が一感染した場合に重症化しにくいというだけのことであるため、引き続き、緊張感を持って、「アフター」ではなく「ウィズ」で行かなくてはならないと思う。

会長：観光客が戻ってきたのは良い傾向だが、第6波などの危険もあるため、十分気を付けていかなければいけない。

委員：この会議について、資料をもらってもよく分からない。事業目標の中で様々な会議が行われているが、どのような内容が話し合われたのか、どのような結果になったのかが分かれば本会議での議論もしやすいかと思う。どこまで可能かは分からないが、今後検討いただきたい。

会長：目標の数字だけではなく、重要な部分については少し詳しく説明いただく。また、これまでの状況・現在の状況など、次回は大体の経緯説明があると良い。

#### 4 その他

○ 事務局

(事務連絡。)

#### 5 閉 会 (午後2時43分)